



48号



株式会社ワカバユニフォーム

令和2年(2020年)7月2日(木)
広島市東区戸坂山崎町2-15
TEL:082-220-2255
H P:wakaba-uniform.co.jp

私のSTAY HOME

自粛期間中、ワカバは3密を避けての営業をしていました。いつもより時間のあったこの期間、どんなふうに過ごしていたのでしょうか？聞いてみました。

息子と一緒に料理



この自粛期間中、中学生と高校生の息子達と一緒にグラタンを作りました。息子達にとっては初めて作ったグラタンでしたが、絶品でした。普段は、平日も休日も学校やクラブ活動でほとんど家にいない息子達ですが、料理をする事は好きなので、時間があるときは自分で作って食べていました。この期間も私は変わりなく仕事でしたが、夕方帰ると晩御飯が出来ていた日があり、感動しました。

家庭菜園



もともと手のかからないトマトやさつまいもを植えるくらいで、ほとんどほったらかし状態な家庭菜園でしたが、今年は初めていろいろとやってみました。小松菜や枝豆、オクラなど野菜の種類を8種類に増やしたり、小さいビニールハウスを設置して雨除けをしたり。作業もやり始めるとそれなりに時間がかかるので充実感がありました。肝心の収穫の方は今のところさっぱりで、喜んでいるのは庭の虫たちばかりのようです。夏から秋にかけての収穫が楽しみです。

おうちキャンプ



例年4月・5月の休日には必ずキャンプに出掛ける我が家は、外出すら出来ない悶々とした休日を過ごす中で、「天気の良い日はせめて家の外に出たい！」という思いから『家キャンプ』デビューしました。BBQコンロやキャンプ用のテーブル、イスを庭に出してキャンプのように外でご飯を作って食べるだけでしたが、準備も片づけも家なので時間がかからず楽で、それでいて満たされた気がして良かったと思います。さすがに寝るのはテントではなく家の中で寝ましたが、...

釣り道具のメンテナンス



この時期は、週末になると仲間たちと釣りに出かけています。波止場からは子ヌヤイカを、船釣りではタイやハマチを狙に行く予定でしたが、出かけられないため自宅で竿やリールの手入れをしていました。大物を釣り上げる日を思い描きながら、入念な手入れをして準備は万端のはずが、つい手に力が入ってしまい竿を折ってしまいました。

この他には、マスク作りやガーデニング、家の掃除など普段できなかったことをした人や、旅番組を見て自宅にいながら旅気分を味わったという人もいたようです。家にいる時間が多くなったことで家族の会話が増え、いいこともありました。みなさんはどの様な時間をすごされましたか？



ワカバふしぎ発見！

自社工場や配送センターを持つワカバでは社員でも知らない不思議なものがあります。ワカバの『なんじゃこりゃ？』や『へえそうだったのか!!』という“もの”や“場所”を紹介します。

今回は《工場》から。



実はこれ「検針器」です。

工場の作業台の上にあるかわいいハトの絵が付いたBOX型の白い台。電源のスイッチはあるのですが、電源をつけても音が鳴るわけでもなく、暖かくも冷たくもなりません。これってなに？

針（金属）に対して反応し、音と光でお知らせする機械です。例えば、金属のついた衣類をこの台の上におくと「ピーッ！」という大きな音が鳴り、ハトの絵がついた2箇所窓が赤く光り、混入を知らせる優れものです。衣類を縫製するなかで、目視できない内側に残ってしまったマチバリの混入を未然に防ぐことが出来ます。

この機械は金属に反応するため、クリーニングから戻って来た時に付いているタグを止めるホッチキスの芯等にも反応するので、音が鳴った時には驚きます。しかし、毎回衣類を通してはなから、針の混入によって鳴った事はこれまで一度もないそうです。



鳴らない事が当たり前なのかもしれませんが、改めて、工場のしっかりとした仕事ぶりに感心しました。洗濯ばさみに反応音が鳴っていない「検針器」は、万が一に備えて、工場の作業台の上でワカバを見守っている静かな守り神でした。

営業部 沖田邦男

サラリーマン川柳に挑戦

サラリーマン川柳に挑戦しよう！を目標に、ワカバのサラリーマンが川柳を詠みます。『できるだけ外出を控えていた自粛期間中。テレビを見ては、あれ食べたい。雑誌を見ては、これ食べたい。ついにはお取り寄せをして食べましたが、やっぱりお店で食べるのが一番！さあ、なにを食べようか。』

あれ食べたい

これも食べたい

よし！行こう

以前と同じようにとはいきませんが、それでも「行こう」と言える幸せを感じますね。
(ワカバ新聞係)



银山店
ヴェカ山口店
今田